

# 連合滋賀2018 春季生活闘争総決起集会アピール

われわれは、本集会において、賃上げ・働き方の改善をはじめとする、すべての働く者の処遇を「底上げ」する決意を改めて確認した。あわせて、社会全体の課題解決に向けて、われわれ自身の役割を認識・共有して取り組んでいく決意も確認した。

現在、要求を掲げたすべての労働組合は、月例賃金、とりわけ賃金の絶対水準にこだわった交渉を精力的に進めている。

特に、日本経済の屋台骨である中小企業で働く仲間と雇用労働者の約4割を占める非正規雇用で働く仲間の処遇改善は、日本経済を自律的に成長させるために不可欠である。何としても、賃上げを継続・拡大させ、賃金は上がっていくという常識を取り戻さなければならない。

そのためにも、「取引の適正化」と「サプライチェーン全体で生み出した付加価値の適正分配」を求める取り組みを、社会全体を巻き込んで、さらに定着・前進させていく。

同時に、長時間労働の是正や同じ職場で働くすべての

労働者の雇用安定と均等待遇実現に取り組み、健全で安全で働きがいのある職場を実現していく。

さらに、働く者の「総合生活改善」のためには、春季生活闘争の「運動の両輪」である「政策・制度実現の取り組み」を働く者・生活者の立場から強力に進める必要がある。そのためにも、すべての働く者の立場にたった「働き方改革」の実現や、すべての世代が安心できる社会保障制度の確立など、山積する重要政策課題の解決に向けて、組織の総力を挙げた運動を展開する。

2018 春季生活闘争は最初のヤマ場を迎える。労使は社会的責任を果たすため、いよいよ答えを出す時である。すべての働く者の賃金の「底上げ・底支え」「格差是正」を実現し、「経済の自律的成長」「包摂的な社会の構築」「人的投資の促進」「ディーセント・ワークの実現」をはかるため、総力を結集し、最後の最後まで、ともに闘おう！

2018年3月3日  
連合滋賀 2018 春季生活闘争総決起集会



**連合滋賀LINE@登録してください！**

連合滋賀が行うイベント・セミナーなど様々な情報をお知らせいたします！

LINE アプリを起動して、  
[その他] タブの [友だち追加] で QR コードをスキャン！  
友だち追加をクリックすれば登録完了です！



# 連合滋賀

日本労働組合総連合会滋賀県連合会

2018年3月22日  
連合滋賀 第281号  
大津市松本2丁目10-6  
電話077-523-0500  
発行・柿迫 博  
編集・藤本 裕司  
(定価 1部6円)  
印刷 ユメディア株式会社



## 連合滋賀に集う仲間！約5,200名集結！！ 連合滋賀2018春季生活闘争総決起集会

連合滋賀は、3月3日(土) 大津市なぎさ公園市民プラザにて、連合滋賀2018春季生活闘争総決起集会を開催しました。

連合滋賀柿迫会長から主催者挨拶、来賓激励挨拶、構成組織・中小・非正規からの情勢報告・決意表明、連合滋賀女性委員会・青年委員会による男女平等アピールを行い、正田等連合滋賀青年委員長が「集会アピール」を提案し、参加者の拍手によって採択しました。

また、国会審議中の「働き方改革」をめぐる「裁量労働制の拡大」「高度プロフェッショナル制度の導入」といった長時間労働を助長しかねない法案反対をアピールし、私たちの要求実現に向けて一致団結するため「ガンパロー三唱」にて集会を締めくくりました。

集会後は、びわ湖ホール、および草津イオンモールまでをシュプレヒコールをしながら、市民にアピールし、連合の要求と運動への理解を訴えました。



「底上げ・底支え」「格差是正」に向けた取り組みと「大手追従・大手準拠などの構造を転換する運動」の継続的な取り組みについて、実行性のある闘争は、要求からはじまります。

あらゆる格差是正に取り組むことで、企業規模の違いや、雇用形態の違いに関係なく「賃金は上がるもの」という社会的合意をもう一度取り戻すことが必要です。

また、「すべての労働者の立場にたった働き方」の実現について、国会では「働き方改革」をめぐる法案が審議されていますが、働き方の課題は職場で起こっていることです。職場を熟知している労使が責任を持って働き方を見つめ直し、健全な職場を構築していき、多様な働き方を選択できる仕組みを整えていくことが必要です。

2018年春闘に向け、連合滋賀ならびに、すべての働く人と連携した闘いを展開し、共に頑張らしましょう！

来賓激励挨拶

民進党滋賀県支部連合会 柴田 智恵美 代表

社民党滋賀県連合会 小坂 淑子 代表

情勢報告・決意表明

U/Aゼンセン滋賀支部 池内 正博 支部長

中小労組連絡会議 青木 広和 議長

格差是正

J-AM京滋 鹿野 英夫 副書記長

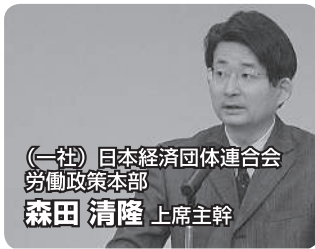
東近江臨時嘱託職員労組 谷 康子 委員長



# 賃金の引き上げの重要性を今一度社会的合意に！ 経営労働フォーラム 2018



連合本部  
総合労働局  
富田 珠代 局長



(一社)日本経済団体連合会  
労働政策本部  
森田 清隆 上席主幹



神戸学院大学  
現代社会学部社会防災学科  
中田 敬司 教授



1月29日(月)、ホテルポストプラザ草津びわ湖にて、連合滋賀・滋賀県・(一社)滋賀経済産業協会の共催による「経営労働フォーラム2018」を92名の参加者のもと開催しました。

主催者を代表して滋賀県労働雇用政策課片岡淑郎課長より挨拶があり、連合本部の富田珠代総労働局長より「2018年版連合白書について」、また(一社)

日本経済団体連合会の森田清隆労働政策本部上席主幹より「2018年版経営労働政策特別委員会報告について」それぞれ解説が行われました。

時局講演として、神戸学院大学現代社会学部社会防災学科の中田敬司教授より「事後の100策より事前の1策ー労働災害の根本原因とその対策についてー」と題して講演が行われました。

## 連合「2018連合白書」、経団連「2018年版経営労働政策特別委員会報告」の解説

連合	 <ol style="list-style-type: none"> <li>「経済の自律的成長」「包摂的な社会の構築」「ディーセント・ワークの実現」をめざすために、「底上げ・底支え」「格差是正」と「すべての労働者の立場に立った働き方」の実現が不可欠。</li> <li>「月例賃金の改善」「賃金水準の絶対値」にこだわり、「底上げ・底支え」「格差是正」に寄与する取り組みを強化する観点からも、2%程度を基準とし、定期昇給相当分を含め4%程度を要求する。</li> <li>中小企業で働く仲間や、非正規労働者の処遇改善に向け、より主体的な闘争を進め、「大手追従、大手準拠などの構造を転換する運動」「サプライチェーン全体で生み出した付加価値の適正分配」の流れを継続・定着・前進させる。</li> </ol>
経団連	 <ol style="list-style-type: none"> <li>適切な総額人件費管理のもと、自社の支払い能力を踏まえ、労使での徹底した協議を経て企業が決定。</li> <li>賃金決定の大原則に則り、賃金引上げに対する社会的期待を意識しながら、自社の収益に見合った前向きな検討が望まれる。</li> <li>収益が拡大・高水準で推移している企業などにおいては、多様な方法による年取ベースの賃金引上げを基本としながら、月例賃金や総合的な処遇改善への積極的な対応を求める。</li> </ol>

# 賃金学習会

真の「底上げ・底支え」「格差是正」は一人ひとりがつくりだす！春闘に向けて知識を高める！

連合滋賀中小労組連絡会議では、2月19日・20日に、守山(ライズヴィル都賀山)・彦根(彦根勤労福祉会館)にて、連合本部の藤川慎一労働条件・中小労働対策局長を講師にお越しいただき、賃金学習会をおこないました。

2018春季生活闘争の意義と目的、中小の基本的な考え方、取り組みや要求の組み立てについて解説を受けました。



連合本部  
労働条件・中小労働対策局  
藤川 慎一 局長

### 【2018春闘の意義と目的】

#### 【中小共闘について】

- ・基本的な考え方 ・取り組み内容
- ・36協定の適切な締結

#### 【すべての労働者の立場に立った働き方の見直し】

- ・年次有給休暇 ・無期転換ルール
- ・同一労働同一賃金 ・公正取引問題

# 違反事業所の対応・労働教育など多岐にわたる課題について議論白熱 滋賀労働行政への要請行動

臨検体制や監督指導体制の強化、法定最低賃金制度の取り組み強化を目的として、滋賀労働行政に関する要請を3月6日、滋賀労働局にて行いました。

連合滋賀から要請の主旨説明を行い、その要請に対する回答説明を受けた後、質疑応答・意見交換を行い、長時間労働の問題(特に、国会で審議中の働き方改革に関する裁量労働制拡大・高度プロフェッショナル制度などについて)、違反している事業所に対しての具体的な対応の仕方、また外国人労働者の相談窓口の課題、高校・大学への労働教育の推進についてなど多岐にわたる意見交換を行いました。



要請書の渡す仁尾政策委員長(右)

# 3月8日「国際女性デー」

連合滋賀女性委員会は、国連が定める「国際女性デー」にあわせて街頭行動をJR南草津駅周辺にて実施し、その後、学習会を草津市立市民交流プラザにて、連合滋賀青年委員会との協力のもと開催しました。

街頭行動では、「国際女性デー」のシンボルであるバラにちなんだバラの香りの入浴剤とチラシを配布するとともに、マイクリレーにて道行く人にアピールを行いました。

学習会は「男性育休取得者によるパネルディスカッション」と題し、実際に育休取得をされた3名の方に、取得された経緯や職場での反応、男性が育休取得するための課題などについてお話をいただきました。

三者三様の経験をお聞きし、「履歴書には載らない本当の意味でのキャリアを経験できたと思う。」「子どもの成長を点ではなく線で感じる事ができた。」「一度、育休取ってみなはれ。それが次の人につながる。」など熱いメッセージを述べられ、育児に関わることの良さを学ぶとともに、フェアな夫婦関係の構築など、自分の固定観念について考えさせられる機会となりました。

## 「街頭行動」 雨にも負けず！男女平等について訴える！



## 「学習会」 男性の育休取得率ってわずか3%…！？ 実際に取得した人から学ぼう！ 「男性育休取得者によるパネルディスカッション」



滋賀県教職員組合  
松本 剛 さん



ダイキン工業労組  
小林 正人 さん



J-P労組  
安田 智宏 さん

# ゴールデンウィークにおける年次有給休暇の取得促進を！

仕事と生活の調和推進のための行動計画では、70%以上に引き上げるとなっているが

しかし… 滋賀県の年次有給休暇取得率 52.0% 大きく下回っている…。



- ①仕事と生活の調和のために、計画的に年次有給休暇を取ろう。
- ②土日・祝日にプラスワン休暇して、連続休暇にしよう。
- ③話し合いの機会をつくり、年次有給休暇を取りやすい会社にしよう。